

令和3年7月30日

私が住んでいる地域の自治会は160世帯で11班あります。各班の中で班長は毎年ローテーションで自動的に決まるわけですが、今年は私が班長の順番でした。そして、自治会の中でも自治会長は毎年ローテーションでどこかの班長が自動的に決まるわけですが、今年は私の班が順番でした。つまり、私が自治会長になってしまいました。

いやあ偶然とはいえ、すごい低い確率ですよね。私の班には19世帯あるわけですから、私が班長になるのは19年に1度、私の班の班長が自治会長になるのは11年に1度、その組み合わせでピタリとハマって私が自治会長となったわけです。そのことが言いたかったわけではないのですが、そんなわけで4月から自治会長をやってます。

さて、今度は自治会の上部組織に自治連合会というのがあります。私も含めた10人程の自治会長が集まるのですが、国政選挙や地方選挙などの選挙がある際には、「投票立会人」を自治連合会から選出します。その時にはまたもや各自治会長のローテーションで順番が回ってくるのですが、もう偶然に偶然が重なって、今月にあった地元の市長選挙及び議会議員選挙の投票立会人として私に順番が回ってきたのです。

投票立会人になったことを説明するのにやたらと時間を費やしてしまいましたが、言いたかったのは、偶然に偶然が重なりすぎてまさか自分がなるわけがないと思っていたものになるということの驚きと、もしかしたら一生に一度あるかどうかという有難い機会なのかもしれないという高揚感でした。後ろ向きな気持ちから前向きな気持ちになったんですね。

皆さんは「投票立会人」ってご存じでしょうか。投票所に行って投票箱に投票用紙を入れて帰ろうかという時に、ただ座ってこちらを見ている方々ですね。何をするわけでもない、でも、皆さんご存じのように投票所がやっている時間って朝7時から夜8時までの13時間。座って見ているだけとはいえ、真夏のエアコンがない小学校の体育館での13時間というのは地獄ですよ。午後1時から3時くらいまでは頭がボーっとしてきて熱中症になりそうでした。

さて、投票立会人を経験してみて気づいた事があります。それは、投票行動には人間性が表れるということです。投票所に入ってから出るまではほんの数分ですが、入って来る時の態度や歩き方、投票用紙を投票箱へ入れる時の入れ方、今回はコロナ禍で鉛筆は使い捨てなのですがその捨て方等、丁寧な人や乱暴な人、さまざまでした。本人は自覚なくとも、投票立会人はジーっと一部始終見ております。次は自分が見られる番ですから、気をつけようと思いました。秋には間違いなく衆議院議員選挙があります。誰にどの党に投票するかも重要ですが、行動を見られてるんだという意識で皆さんも臨まれてはいかがでしょうか。

以上